



相生小学校

風の子 太陽の子

学校便り

No. 9

R 7. 9. 2 4

全国学力学習状況調査報告

4月17日（木）に6年生が実施した令和7年度の全国学力学習状況調査の結果が報告されました。本校の結果についてお知らせします。この結果を今後の教育活動に生かしていきます。6年生以外の保護者の皆様も、現在の相生小の学びの現状や日本の教育で求められている力について関心をもっていただければと思います。

【国語科】

文章の構成を考えたり、自分の考えを工夫して書いたりする問題で全国を上回りました。一方で、漢字の正確な使い方や、文章全体の要旨をつかむ問題では課題がありました。

【算数科】

分数の計算や台形を見分ける問題など、基礎的な知識や技能を問われている問題で全国を上回りました。

一方で、グラフから関係を読み取る問題や、比例の考え方を使って数量を求める問題では全国を下回りました。また、日常的な数量（はかり、割合など）を扱う問題に弱さが見られました。

【理科】

観察結果をもとに予想したり、電気回路の仕組みを考えたりする問題で、高い正答率を示しました。

一方で、金属の性質や植物の花のつくり、水の蒸発と温度変化の関係といった知識を整理して理解する問題では課題が見られました。

【児童質問紙より】

《授業について》

授業の中で主体的に学習に取り組み、友達と協力しながら学びを深める姿が多く見られています。全国の結果と比較しても、多くの項目で高い割合を示しており、子供たちが「主体的・協働的に学ぶ力」を着実に付けていっていることが分かります。

「先生が理解できるまで教えてくれている」と答えた児童が全国よりも高い結果となっており、子供たちが安心して学習に向かえる環境が整っているといえます。

今後は、学んだことを自分の言葉で表現し、生活に活かす力をさらに育てていくことができるよう、授業改善を進めてまいります。

《国語について》

国語の授業に対して「役に立つ」と感じている子が多く、先生からの助言を受けながら工夫して書いたり、読んだりすることに意識を向けています。

一方で、「国語が好き・得意」と答えた割合は全国よりも低く、学習に対する意欲を高めていくことが課題です。今後、教材を他の教科や、子供たちの生活と結び付け、楽しさや必要性を実感できる授業づくりを意識していきます。また、自分の考えを工夫して表現する活動（発表、作文、討論など）にも力を入れていきます。後期は、修学旅行や「風の子太陽の子発表会」という大きな行事がありますので、これらを核にして、必要な力を付けていきたいと考えています。

《算数について》

算数については、「得意」「好き」と感じている児童が全国よりも多く、前向きに取り組む姿勢が見られます。特に「考えを説明する活動がある」「解き方を工夫する」と意識している児童が多く、学習に対する意欲が表れています。今後も、生活の中で算数のよさを実感できるようにしていきます。

《理科について》

理科では、「**観察や実験をよく行っている**」「**予想を立ててから取り組む**」と意識している児童が非常に多く、積極的に学習に向かう姿が見られます。

一方で、「**理科が好き・得意**」と感じる割合は全国と比べて低めであり、学習を生活や将来の学びに結び付けていく工夫が必要だと感じています。

《生活全般について》

「学校に行くのが楽しい」「友達関係に満足している」「先生が自分の良いところを認めてくれている」と感じている児童が全国よりも多く、本校の**子供たちの多くが、安心して学校生活を送ることができている**ことが分かりました。「自分にはよいところがある」と思える**自己肯定感が高く**、「人の役に立ちたい」「違う意見について考えるのが楽しい」と感じる割合も上回っているため、**社会性や協調性、多様性などの力が育っている**ことも分かりました。

一方で、**起床・就寝時刻などの生活リズムについては、全国よりやや低い結果**となりました。インターネットやスマートフォンの使用についての指導も含め、保護者の皆様と連携を取りながら、改善していくことができるとよいと考えています。

家庭学習については、平日・休日ともに「**2時間以上勉強する**」と答えた児童が全国より少なく、**中学校に向けて、学習習慣のさらなる定着、量や質の向上が今後の課題**です。自主勉強の仕方やタブレット持ち帰りなどによる ICT 活用方法など、より具体的に指導をし、称揚を繰り返しながら進めていきたいと考えています。

さらに「読書が好き」と答えた児童や「新聞を読む」習慣のある児童は全国平均を下回っており、**本や新聞を通じて学ぶ力を伸ばす必要**があります。今後、週4回ある朝読書の時間を活用し、「チュースク（中日新聞社のスクール新聞）」を取り入れる予定です。新聞にふれることで、社会への関心が高まり、語彙力や読解力を付けることができると考えています。また、記事をきっかけに友達と意見を交流することで、多様な考えに気づき、学びを広げることを期待しています。

地域の大人との関わりや「地域や社会をよくしたい」という思いについては、全国平均よりやや低めの結果でした。今後は、総合的な学習の時間、卒業記念風揚げ、様々なボランティアの方との関わりの中で、子供たちが、地域社会に目を向けられるよう工夫していきたいと思います。

《ICT 活用について》

本校では、授業の中で ICT を活用する機会を多く設けています。その結果、子供たちはインターネットで調べたり、情報を整理したり、発表用の資料を作成したりする **ICT 活用の基本的な力を着実に伸ばしています**。「友達と意見を共有できる」と感じている児童も多く、**学び合いの姿勢も育っています**。

今後は、ICT を使うだけでなく、学習内容の理解をし、**自分の考えを分かりやすく表現する力**をさらに高めていきます。また、ICT を活用することのよさを生かしながら、**自分で学習方法を選択、判断したり、内容や進度を調整したりしながら、より自分に合った学習を進めていくこと**で、内容の理解と定着を図っていきます。

《保護者の皆様へ》

本校の子供たちは、学校生活に安心感をもち、友達との関係や自己肯定感においても良い傾向が見られます。

一方で、全国と比べると、生活リズムの乱れや家庭学習の不足、読書や新聞に親しむ機会が少ないことが課題となっています。

御家庭においても、規則正しい生活習慣づくりや学習時間の確保、読書や新聞を通じた学びの場づくりにご協力いただければ幸いです。学校と家庭が連携しながら、子供たちのよりよい成長を支えていきたいと考えています。

御理解、御協力をよろしくお願いいたします。